

# 安全荷重表

6×24 (A種)  
安全係数:6 単位トン



公口 幅 mm	2本2点つり			2本4点あだ巻きつり 3本3点つり 4本4点つり		2本4点半掛けつり	
	垂直つり	つり角 $\alpha \leq 30^\circ$	つり角 $\alpha \leq 60^\circ$	つり角 $\alpha \leq 30^\circ$	つり角 $\alpha \leq 60^\circ$	つり角 $\alpha \leq 30^\circ$	つり角 $\alpha \leq 60^\circ$
6	0.600	0.570	0.510	0.840	0.750	1.14	1.02
8	1.07	1.02	0.912	1.50	1.34	2.04	1.82
9	1.35	1.28	1.15	1.89	1.69	2.57	2.30
10	1.67	1.59	1.42	2.34	2.09	3.18	2.84
12	2.40	2.28	2.04	3.36	3.00	4.56	4.08
14	3.28	3.11	2.78	4.59	4.10	6.23	5.57
16	4.28	4.06	3.63	5.99	5.35	8.13	7.27
18	5.42	5.14	4.60	7.58	6.77	10.2	9.21
20	6.68	6.34	5.67	9.35	8.35	12.6	11.3
22	8.12	7.71	6.90	11.3	10.1	15.4	13.8
24	9.64	9.15	8.19	13.4	12.0	18.3	16.3
26	11.3	10.7	9.60	15.8	14.1	21.4	19.2
28	13.1	12.4	11.1	18.3	16.4	24.9	22.3
30	15.0	14.3	12.8	21.1	18.8	28.6	25.6
32	17.1	16.3	14.5	24.0	21.4	32.6	29.1
36	21.6	20.5	18.3	30.2	27.0	41.0	36.7
40	26.8	25.4	22.7	37.5	33.5	50.9	45.5

JIS IWRC 6×F(29) B種の安全荷重は、JIS 6×24 A種 安全荷重の約1.37倍  
注) 4本4点つり及び2本4点あだ巻きつりの場合は、荷重の均等が難しいため、4点つり作業でも3本つりとして安全荷重を計算する。

# ロープの簡易点検

玉掛けワイヤーには、不適格なワイヤロープの使用禁止というのが労働安全衛生規則及びクレーン等安全規則で決められています。

★どれか一つでも廃棄基準に達していれば、そのロープは廃棄して下さい。

## ●キンク



**点検方法**  
プラスキンクとマイナスキンクがあるため、その有無を点検する。

**廃棄基準**  
局部的によりが詰まったり、戻ったりしている場合。

## ●つぶれ



**点検方法**  
局部的に押しつぶされた部分が無いかを点検する。

**廃棄基準**  
局部的な押しつぶしによる偏平がある場合。

## ●断線



**点検方法**  
目視

**廃棄基準**  
素線が、ロープ1よりの間において、最外層ストランド中の総素線数の10%以上断線しているもの。  
又はロープ5より間において20%以上断線しているもの。  
総素線総数は6×24の場合で144本

## ●サビ



**点検方法**  
表面の腐食の有無を点検。  
ある場合は、布地で拭いて取れる薄いサビが、表面に凹凸が生じているかを調べる。  
内部は、スパイク等でストランドを持ち上げて調べる。

**廃棄基準**  
素線断面にピittingが発生して、あばた状の場合。  
内部腐食によって素線が緩んだ場合。

現在使用中のワイヤロープの状況を上の損傷写真と比較して下さい。

※コピーしてご利用下さい。